



学校だより

横浜市立桂台小学校
学校長 渡邊 勉
横浜市栄区桂台南1-1-1
TEL 891-8000

令和3年度 4月号

「心のスイッチ」

校長 渡邊 勉

温かい春の日差しを受け、花壇やプランターのパンジーやビオラが子どもたちの入学や進級を祝ってくれているようです。いよいよ令和3年度が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご進級、ご入学、誠にありがとうございます。

3月24日（水）に行われた第50回卒業証書授与式では、72名の子どもたちが巣立っていきました。呼びかけをすることはできませんでしたが、一人ひとりの証書を受け取る時の態度がとても立派で、代表児童の言葉や全員の歌声はどれも素晴らしく、大変感動する式となりました。職員一同、このような卒業式を挙げてできたことを誇らしくうれしく思うと同時に、子どもたちを支えてくださった保護者や地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

4月6日（火）には、最上級生となった新6年生が、新年度準備のために登校しました。入学式の式場となる体育館や新1年生の教室を整えたり、新1年生を迎える昇降口や靴箱をきれいに掃除したりと、どの子も汗をかきながら頑張っており、頼もしさを感じました。卒業生から託されたバトンをしっかり引き継ぎ、リーダーとなって在校生を引っ張っていくのだという意欲が伝わってきました。

そして、本日、桂台小学校は45名の新1年生を迎え、全校児童343名で創立51年目をスタートしました。始業式では、子どもたちに「心のスイッチ」という詩を紹介しました。

「心のスイッチ」 東井義雄

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ているも見えない。
人間の耳はふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。
ほんとうにそうだ、と、腹の底まで聞く人もある。

(中略)

心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。
心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばしくもしていくんだ。
電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

子どもたちが心のスイッチを入れて、着実に前に進んでいけるように、そして「かがやく えがお さいごまでやりぬく かつらっこ」の学校教育目標の具現化に向けて、教職員一同全力で教育活動に取り組んでまいります。

本年度も、保護者の皆様並びに地域の皆様には、これまでと同様に、ご理解とご支援・ご協力をくださいますよう、よろしくごお願い申し上げます。